

関西経済エコシステムによるオープンイノベーション創出の支援

- ・スタートアップによるオープンイノベーションの創出は関西経済の成長の一つの鍵！
- ・スタートアップ企業発掘及びベンチャー企業育成を目的に、先輩起業家、起業を考えている学生、支援機関、地域金融機関など各主体を、近畿財務局が「つなぎ役」となり、相互のネットワーク形成を促す意見交換会等を企画することで、関西経済の活性化に貢献！

概要

新事業創業者と金融機関、そして専門家をつなぐ

・新事業創業者の①創業準備期、②創業期、③創業後の各ステージの課題について、金融機関、専門家及び支援機関が参加し、双方の共通理解を深める意見交換会と交流会を開催。



学生起業支援「K O B E マネーの猫」を開催

・神戸の「谷上プロジェクト」と共催で、学生向けに起業や資金調達のノウハウを伝授する「K O B E マネーの猫」を開催。第一線の先輩起業家からの資金繰り等に悩んだリアルな体験談をはじめ、金融機関と起業家とのパネルディスカッション、学生による事業プレゼンを通じ、参加者が相互に刺激を与えあうネットワークを構築。



取組の成果

新事業創業者と金融機関、そして専門家をつなぐ

・参加者から「実際に融資につながった」、「支援機関同士でも起業・創業支援や創業機運醸成事業についての情報交換、意見交換を実施し、**人脈に厚みが出来た**」等の声を確認。

学生起業支援「K O B E マネーの猫」を開催

・参加者から「学生のうちから起業を志す人たちの声を聴いて、事業を行いたいとより強く思うようになり、良い刺激になった」、「こういうイベントは、東京では毎日のように開催されているにも関わらず、関西ではめったに開催されない。今回のように関西で開催されて非常にうれしく思う」等の声を確認。



・反響が大きく、継続開催を要望する参加者の声に応え、第2弾の開催が決定。



『事業承継』をテーマに、国・地方公共団体・支援機関が連携支援①

- ・多くの中小企業が集積する関西において『事業承継』は喫緊の課題。
- ・近畿財務局管内の金融機関のほか、取引先の中小企業、支援機関等を対象に、各種専門機関と連携した「事業承継支援セミナー」を企画し、総勢102名が参加するセミナーを開催！

概要

・大阪商工会議所が平成30年2月～3月に実施したアンケート調査結果によると、「承継に了解を得た後継者」がいる企業の割合が全体の4割強にとどまり、また全体の半数以上が事業承継計画を策定していないなど、事業承継対策は遅れている状況。

・管内の金融機関のほか、取引先の中小企業、支援機関等を対象にしたセミナーを、近畿経済産業局、大阪府、大阪商工会議所、大阪産業振興機構、中小企業基盤整備機構近畿本部、近畿税理士会との共催で開催。



ちほめんによる自主運営



セミナー会場は満員御礼

取組の成果

・当日は、民間企業や地域金融機関のほか、地方公共団体や各種支援機関など、**定員90名を超える総勢102名が参加。事業承継の諸課題に対する関心の高さがうかがえた。**

・参加事業者から「事業承継に対する取組・施策についての理解が深まった」、「弊社が置かれている状況と一致する話が多々あり、今後に向けて大変勉強になった」との声や、参加金融機関からも、「事業承継税制の内容から支援策まで本日のセミナーで網羅的に学べた」、「事業承継は重要施策であり、今後も様々な案件が出てくることが予想されるのでセミナー等を定期的に行っていただけるとありがたい」と評価の声を確認。

・セミナーへの参加者同士が連絡を取り合い、新たな取組（勉強会の実施）がスタートしているとの報告を受けるなど、当セミナーをきっかけとした支援強化も図られた。



セミナー後は講師と名刺交換

『事業承継』をテーマに、国・地方公共団体・支援機関が連携支援②

- ・和歌山県は事業所数の減少が全国1位であり、事業承継が重要課題。
- ・和歌山税務署の協力も得て、和歌山財務事務所主催「事業承継税制セミナー」を開催するとともに、ローカルFM番組を通した事業承継税制の周知を展開！

概要

・次世代への事業の円滑な引継が課題とされる地方の事業者においては、事業承継に伴う贈与税や相続税にかかる納税猶予等の制度は大きな関心事項。また、消費税の引上げとそれに伴う軽減税率制度についても、まさにこれから各事業者が準備を進めていく時期に入っているところ。



事業承継税制セミナー

・和歌山税務署から講師を招聘しセミナーを開催。相続税・贈与税の基礎等、予備的な説明も加え、消費税の引上げ及び軽減税率制度をセットで周知。

FM番組を通した事業承継税制の周知

- ・ローカルラジオ番組の「FMマザーシップ」に所長が出演し、事業承継税制をPR。
- ・ちほめんが収録前に、掛け合い形式のシナリオを作成。



FMマザーシップ番組収録模様

取組の成果

事業承継税制セミナー

- ・31名の事業者等が参加。ポイントを絞った分かりやすい説明で、受講者からのアンケートでは、**96%の方から「理解できた」「概ね理解できた」と評価の声を確認。**



席上配付資料（抜粋）



和歌山地方合同庁舎でのセミナーの様

FM番組を通した事業承継税制の周知

- ・「FMマザーシップ」は、広い範囲を受信網としてカバー（人口45万人が対象）。
- ・**事業者でないリスナーにも分かりやすいシナリオ原稿を作成するなどの工夫も凝らした。**



予め準備したシナリオ原稿

関西地区金融機関とNEXCO西日本グループを繋ぐ大商談会

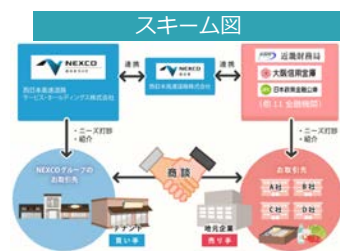
- ・ 地域金融機関による金融仲介機能の発揮に資する取組として、近畿財務局・NEXCO西日本グループ・大阪信用金庫・日本政策金融公庫との共催で、地域産品の販路拡大を目的とした大商談会を実施。
- ・ 関西地区13 金融機関と連携し、169 社のメーカー・生産者と、関西のSA・PAの商業施設を運営するテナント18社（45エリア）をマッチング。NEXCO西日本グループと財務局の連携は当該企画が初！

概要

・ NEXCO西日本グループが中国、九州各地で展開してきた商談会について、関西地区でも実施したいと相談を受け、当企画を提案。

・ 近畿財務局・NEXCO西日本グループ・大阪信用金庫・日本政策金融公庫の共催実施が決定。9月に金融機関向けの説明会を開催し、共催金融機関のほか、2銀行、9信金が参加を表明。

・ 成約率を向上させるため、アンケートによりバイヤーと金融機関取引先の要望を先に確認しマッチング精度を高めるよう工夫。当日の商談スケジュールをちほめんとNEXCO西日本グループが相談しながらセット。



エントリーシート

何度も打合せを実施

取組の成果

・ **2会場・36ブースに分かれ435商談**を実施。いずれのブースも、自社商品を持ち込みPRする事業者の熱気と、試食品の香りに包まれ、大盛況のうちに終了。



・ 自社商品をPRする場として「試食展示スペース」を設置。



・ 「これだけ多くのSA・PAのバイヤーと一気に取引できる可能性を広げていただけたことは非常に有難い」、「SA・PAの取扱量は大きいので販路として非常に魅力的」といった参加事業者の感謝の声が多数！

地域の課題解決に向けた大学とのコラボ企画①

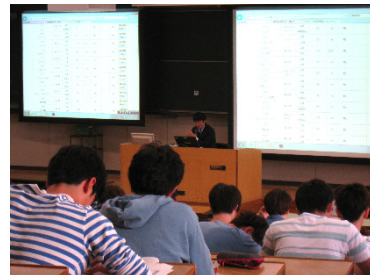
- ・ ちほめんと大学生という、同世代の若者同士の交流を通じ、地域の課題解決に挑戦！
- ・ 兵庫県内での就職率の上昇に向けて、兵庫県立大学生に地元で働く魅力を感じる機会を提供！

※「ちほめん」.....近畿財務局の若手有志職員により結成された地方創生企画推進メンバー

概要

・ 兵庫県立大学から「学生の県内就職率が低下しており、兵庫県としても学生の他府県への流出が課題。」との要望を受け、当企画をスタート。

・ 兵庫県内企業の魅力周知と就職支援を行うため、まずは、ちほめんが講師となり、神戸に所在する企業の有価証券報告書を事例に「よくわかる！会社の見方」講座を実施。



・ 魅力ある企業を知ってもらうための方法を学生へのアンケートをもとにちほめんが検討し、県内企業4社によるパネルディスカッションを提案。「仕事のやりがい、会社を選んだ理由、10年後のビジョン」をテーマに討論。



取組の成果

・ 講義後のレポートで、「将来のビジョンが明確で魅力ある企業が兵庫県にあることは知らなかった」や「県内就職しても海外で活躍できることを知った」などの感想を学生から確認。

・ 参加いただいた企業からも「将来のキャリアに向けたお話を大学時代に講義として受けることができるのは、とても羨ましく、私自身も受けたかった内容でもありました」等の評価の声を確認。

・ 兵庫県立大学からは引き続き、連携の要望も受けており、**地域活性化のため大学との連携を継続予定。**



地域の課題解決に向けた大学とのコラボ企画②

- ・ ちほめんと大学生という、同世代の若者同士の交流を通じ、地域の課題解決に挑戦！
- ・ 京都産業大学の経済学部ゼミに参加し、地域の「つなぎ役」としてのやりがいをPR
- ・ 離島振興に取り組む滋賀県立大学の学生たちと、地域のために何ができるか、意見交換

概要

京都産業大学での出前講座(京都)

- ・ 京都財務事務所では、平成28年度から同大学で「日本の財政の現状」に関する出前講座を実施。当講座を担当していた教授から、「地域活性化に興味を持っている経済学部ゼミ生が多いため、地方創生支援の取組をゼミで紹介してほしい」との要望。
- ・ 近畿財務局の地方創生支援の実績を紹介し、都道府県の枠を超えた、国の出先機関ならではの広域連携の「つなぎ役」となれることをPR。

滋賀県立大学学生と意見交換(大津)

- ・ 大学からオファーを受け、国内唯一の淡水湖の有人島「沖島」の振興に取り組む滋賀県立大学の学生たちと島を訪問し、地域の活力維持・向上のため何ができるか意見交換。



取組の成果

京都産業大学での出前講座(京都)

- ・ 京都産業大学のHPで、当講座の内容と聴講学生の声が紹介。「ちほめんという若い人の意見、アイデアを沢山取り入れたプロジェクトが素敵だと思った」等の評価の声が多数掲載。



滋賀県立大学学生と意見交換(大津)

- ・ 学生からは、「島を盛り上げるため、同世代の若者同士、一緒に活動してほしい」等の要望があり、引き続き支援予定。



公民連携による子育て世代の働き方改革にちほめんが参画

- ・子育てのため一度就労から離れた子育て世代をターゲットに、多様な働き方を紹介するイベントをちほめんが企画提案。地方公共団体(柏原市)と民間事業者(株)ママスクエア、近畿財務局という三者共催の企画！
- ・働き方改革という今まで手掛けたことのない新たなテーマへのチャレンジ！ちほめんもマネー講座の講師としてプレイヤー参加。

※「ちほめん」……近畿財務局の若手有志職員により結成された地方創生企画推進メンバー

概要

- ・柏原市とママスクエアが連携協定を締結
柏原市は母親の新しい就労形態を提供するため、地方創生推進交付金を活用し、公民連携初の託児機能付オフィスをオープン。
- ・ちほめんが多様な働き方を紹介する企画を提案
柏原市、ママスクエアの若手職員と協力し、ポスターデザイン、働く女性の1日のスケジュール等、イベントを充実させるアイデア出しワークショップを実施。



フライヤー



柏原市・ママスクエア・ちほめんによるワークショップ

取組の成果

- ・『かしわらママ応援フェア』の開催。ハローワークから家庭と子育ての両立が可能な求人情報、ママスクエアから女性の働き方を紹介。お昼寝アート等の現役ママ講師を招き、実演・1日のスケジュール紹介等、6ブースを設けて開催。
- ・ちほめんも、教育資金の準備の仕方のほか、子育てママの関心が高い「年収の壁」も内容に盛り込み、マネー講座を実施。
- ・参加者は108名（ママさん54名、お子さん54名）と、盛況のうちに終了。



各ブースの様子



ちほめんによるマネー講座